

日本社会分析学会ニューズレター

2022年2号 [2022年6月20日発行]

発行：日本社会分析学会事務局
〒753-8511 山口市吉田1677-1
山口大学人文学部 桑畑研究室内
編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel: 083-933-5242 (研究室直通)
E-mail: sasa@jsasa.org
ホームページ: <http://jsasa.org/>
郵便振替口座: 01740-0-49579
(名義)日本社会分析学会

◆役員選挙につきまして

役員選挙を実施します。選挙権をお持ちの会員の方は、同封のハガキで投票をお願いいたします。

◆第143回例会のお知らせ

※第143回例会プログラムをお届けします。

歓迎の言葉

吉武 理大(松山大学)

このたび日本社会分析学会第143回例会を松山大学で開催させていただくこととなりました。対面とオンラインとのハイブリッド形式での開催となります。

松山大学は、1923年に松山出身の実業家である新田長治郎氏の寄付により、松山高等商業学校として設立され、初代校長には旧大阪高等商業学校長であった加藤彰廉氏が選任されました。その後、1944年から松山経済専門学校として、そして1949年からの松山商科大学を経て、1989年に現在の松山大学に改称されました。

松山大学は愛媛県松山市に位置し、現在は、経済学部、経営学部、人文学部、法学部、薬学部の5学部からなる、学生数約5,600人の私立大学です。人文学部には社会学科が設置されており、大学院の社会学研究科(修士課程・博士課程)は2006年に開設されました。本学は来年2023年には100周年を迎えますが、社会に貢献できる人材の育成を目指し、教育を展開しております。本学会の会員である、小松洋会員と吉武は人文学部社会学科に配属されています。

例会の開催会場である松山大学樋又キャンパスは、文京キャンパスに隣接した新しいキャンパスです。樋又キャンパスの建物の中央には中庭があり、吹き抜け構造が特徴的な、開放的な空間となっています。例会の会場は樋又キャンパス2階の教室ですが、キャンパス1階にはキャリアセンター、地域との連携活動や公開講座などを担当する社会連携室、学生の交流やイベントの開催なども可能な複数の共有スペース、カフェ、レストランなどがあります。1階のレストラン「ル・ルパ」は、土日のお昼にも営業しているため、昼食にも利用可能です。また、キャンパス周辺には、コンビニエンスストアやパン屋、カフェなどもあります。

新型コロナウイルスの影響を受け、松山市の観光客数も減少しておりますが、松山大学がある松山市は、道後温泉や松山城、石手寺、坂の上の雲ミュージアムなどの観光地も有名です。さらに、愛媛県内では、しまなみ海道の景色、内子町の町並みや内子座、海が見える下灘駅や梅津寺駅なども近年人気となっています。

約2年間、多くの学会がオンラインでの開催となっておりますが、最近では対面とオンラインとのハイブリッド形式で開催する学会も出てきました。今回の日本社会分析学会の第143回例会もハイブリッド形式での開催となり、会員の皆さまを対面でもお迎え予定です。また、対面の例会会場では、1日目の総会后に、感染対策に留意したうえで軽食を提供しての意見交換会を予定しております。対面での参加をご希望の方は、愛媛県松山市にある松山大学の樋又キャンパスにお越しください。対面でも、オンラインでも、多くの会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

★ 第 143 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2022 年 7 月 23 日（土）～24 日（日）

会場：松山大学（樋又キャンパス 2 階）

（愛媛県松山市文京町 4 番地 2）

※両日とも対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式での開催を予定しております。

※持ち時間は、一般報告については 30 分（報告 20 分質疑 10 分）、特別部会については 20 分（質疑込み）です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。会場では報告にてプロジェクターが使えます。Zoom に対応できる PC 等を各自ご持参ください。

※報告者の方は、オンライン配信時に共有可能な資料についてもご準備ください（形式は word でも PDF でも ppt でも、一般的なものであれば構いません。事前に事務局と打ち合わせをさせていただきます）。

※なお、今後の状況次第では例会開催方法の変更等が生じる可能性もございます。事務局からの連絡にご注意ください。

7月23日(土)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。なお、オンライン参加の方は、質問等がある場合はチャット機能をお願いいたします（ただし全てのご質問に対応できるとは限らないことをご了承ください）。

理事会（13:00～14:00） 樋又キャンパス 2 階 H2B 教室+オンライン

※例会初日(7月23日)の13時00分より理事会を予定しております。対面とオンラインを交えて実施予定ですので、理事の先生方には後日メールにて zoom の URL をお送りします。

開 会 14:15 樋又キャンパス 2 階 H2D 教室+オンライン（以下同様）

自由報告部会I（14:20～15:50）

※配信 URL は <https://us06web.zoom.us/j/83402528908> です。QR コードは→



1.「伊仙町の人々の生活と子育て（1）質問紙調査の結果概要からみる地域社会と子育て」(s)

吉武 由彩(熊本大学)

2.「伊仙町の人々の生活と子育て（2）育児ネットワークの地域間比較」(s)

益田 仁(中村学園大学)

3.「伊仙町の人々の生活と子育て（3）子育てを支える地域社会のしくみ」(s)

山下 亜紀子(九州大学)

休憩(10分)

総会 (16:00～17:00)

※総会後に軽食を囲んでの情報交換会を 1 時間程度予定しております。参加費は 1,000 円です。

7月24日(日)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。なお、オンライン参加の方は、質問等がある場合はチャット機能をお願いいたします(ただし全てのご質問に対応できるとは限らないことをご了承ください)。

※配信 URL は <https://us06web.zoom.us/j/89833814407> です。QR コードは→



自由報告部会II (10:00~12:00)榎又キャンパス 2階 H2D 教室+オンライン

1. 「宗教に基盤を置く相互扶助とその制度化——天理教里親を事例に」 (s)

桑畑 洋一郎 (山口大学)

2. 「なぜ民族団体に参加するのか——「在日本大韓民国青年会」参加者の事例から」 (s)

木下 佳人 (熊本大学大学院)

3. 「2021 武雄水害における被災状況と脆弱性」 (s)

三隅 一人 (九州大学)

4. 「韓流ブーム以降における「大阪生野コリアタウン」イメージの考察

——韓国文化意識調査の結果を中心に」 (s)

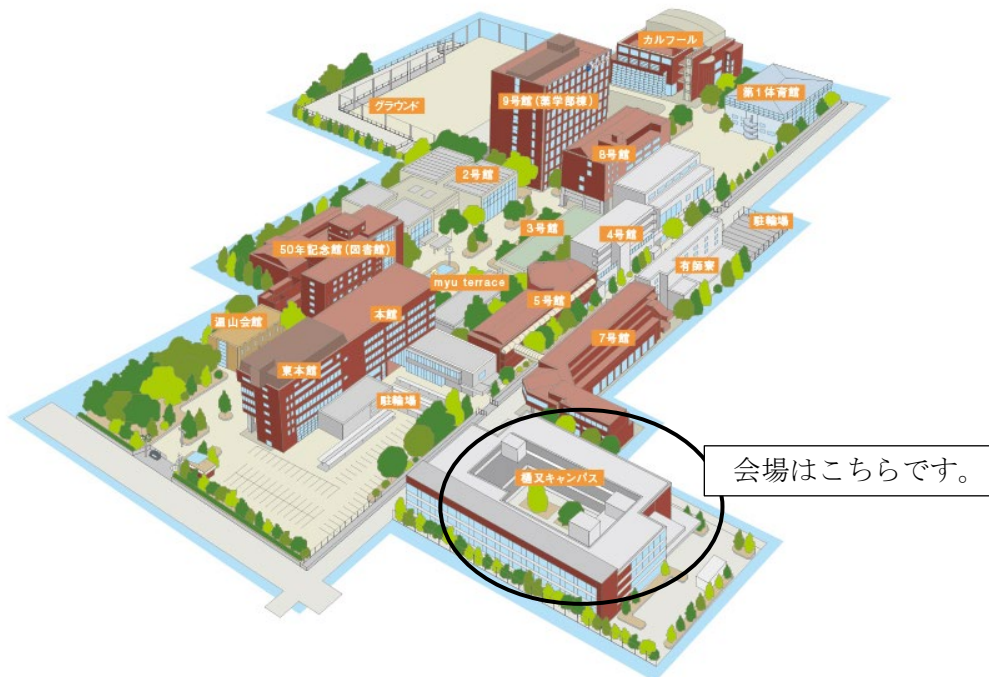
八木 寛之 (関西国際大学) ・ 吉田 全宏 (大阪市立大学)

閉 会 12:10

●会場までの交通案内 (<https://www.matsuyama-u.ac.jp/guide/campus/access/> より)

鉄道	松山市駅	伊予鉄道 市内線電車	2番環状線(大街道経由) (20分) ▶ 1番環状線(古町経由) (15分) ▶ 1番環状線 (10分) ▶	鉄砲町	徒歩(5分) ▶	松山大学 正門
	JR松山駅					
	古町駅					
飛行機	松山空港	松山空港リムジンバス(15分) ▶				JR松山駅
	船	松山観光港 (小倉・広島・呉)	観光港リムジンバス(20分) ▶ 連絡バス(2分) ▶		高浜駅	郊外線(15分) ▶
三津浜港 (柳井)		路線バス(約40分) ▶ タクシー(3分) ▶		三津駅	郊外線(10分) ▶	松山市駅 古町駅
八幡浜港(別府・臼杵)		特急バス (1時間44分) ▶				松山市駅
三崎港(佐賀関)		特急バス (2時間44分) ▶				松山市駅
高速バス		三ノ宮(兵庫)	高速バス (4時間15分) ▶			
	高松(香川)	高速バス (2時間45分) ▶				JR松山駅
	高知	高速バス (2時間43分) ▶				
	徳島	高速バス (3時間18分) ▶				
	岡山	高速バス (2時間55分) ▶				
福山	高速バス (2時間54分) ▶	新尾道駅経由				

●学内地図



※樋又キャンパスは、正門がある文京キャンパスから、細い道路を渡ってすぐのガラス張りの建物です。
※なお、松山大学は2022年4月より、大学敷地内全面禁煙となりましたので、喫煙所はありません。
※キャンパス内は車の入構が規制されていますので、お車の乗り入れはご遠慮ください。

◆会員異動（届出順、敬称略）

●入会

李 睿

Mail : lr2008@hotmail.com

研究分野：社会学、ジェンダー

八木 寛之

所属：関西国際大学現代社会学部

Mail : func.heroyuki@gmail.com

研究分野：都市社会学、地域社会学

●退会

篠原隆弘、佐々木衛、左賀彬、高木一也、山口万里子、張乾坤、巖路、磯田朋子、田代英美、山田陽子

◆事務局より

●『社会分析』49号の誤記につきまして

49号116ページの編集後記に以下の誤りがありました。

誤) 山田 洋子 → 正) 山田 陽子

読者の皆様ならびに山田陽子先生にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

●書籍のご紹介につきまして

会員が執筆した書籍等の紹介をホームページ等で行えればと考えております。該当する書籍等がございましたら、情報を事務局までお寄せください。